社会保障法 I

科目ナンバリング SOL-301
選択 2単位

藤木 貴史

1. 授業の概要(ねらい)

私たちの社会では、多くの人が雇用されて労働し、賃金を得ることで生活しています。しかし、働くことだけが人生ではありません。働くこと以外にも「人間らしい豊かな生活」を送るためのサポートが必要です。社会保障法は、「セーフティーネット」を提供することで、「人間らしい豊かな生活」を実現するための法分野です。

社会保障法Iでは、社会保険を中心とする部分を扱います。社会保障法Iと社会保障法IIは連続性が強いので、連続して履修することを強く勧めます。

この授業の狙いは次の通りです。

- ①みなさんが、社会保障法に関する複合的知識を習得できる(カリキュラムマップ4,9)
- ②みなさんが、自分の直面したトラブルに対し、社会保障法に基づいた解決策を提示できる(カリキュラムマップ11)

2. 授業の到達目標

- ①社会保障法の基礎的知識を習得する
- ②発生したトラブルについて、社会保障法に基づいた解決先を家族や友人に説明できる

3. 成績評価の方法および基準

到達目標①の計測のために小テストを、到達目標②の計測のために期末テストをそれぞれ実施します。

[小テスト] 毎回授業後に、LMS上でその回の授業内容を確認します(客観式)

[期末試験] 身近に発生するトラブルについて、社会保障法に基づいた解決策を提示できるかを確認します(記述式)

4. 教科書・参考文献

教科書

本多巳代子・新田秀樹 『トピック社会保障法』 不磨書房(信山社)2022年

参考文献

岩村正彦編 『社会保障判例百選』 有斐閣・2016年

5. 準備学修の内容

[予習](1時間程度)

- ・LMS上からレジュメを印刷しましょう。
- ・レジュメに指示された部分の教科書を読みましょう。

[復習](3時間程度)

- ・LMS上の小テストを解きましょう。
- ・その回の内容を友人・家族に説明できるか試してみましょう。

6. その他履修上の注意事項

[授業を受ける姿勢]

- ・休まないで出席することは理解の前提となるので、その旨心がけてください。
- ・教科書の購入は必須です。試験の際には、原則、教科書のみ持ち込みを認めます。

[授業の進め方]

- ・進度は学生の理解に応じて調整されることがあります。
- ・小テストはLMSを通じて毎回出題する予定です。出席のみでは平常点となりません。

[関連科目]

本講義の理解のためには、①日本国憲法、②行政法、③労働法I・IIなどの基礎的知識があることが望ましいです(ただし、これらの科目未履修の学生も、この講義を履修して構いません)

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 社会保険論総論
- 【第3回】 労災保険(1)
- 【第4回】 労災保険(2)
- 【第5回】 雇用保険(1)
- 【第6回】 雇用保険(2)
- 【第7回】 医療保険(1)
- 【第8回】 医療保険(2)
- 【第9回】 医療保険(3)
- 【第10回】 介護保険
- 【第11回】 年金保険(1)
- 【第12回】 年金保険(2)
- 【第13回】 年金保険(3)
- 【第14回】 少子高齢化と社会保障
- 【第15回】 授業内試験